岡崎市社会資本整備総合交付金事業
事後評価委員会議事録

日時：平成 28 年３月１日（火）　13：15～
場所：岡崎市役所　東庁舎６階　602 号室
出席者
（評価委員）
委員長：前愛知産業大学学長　　　　小川　英明　氏
委　員：愛知工業大学工学部教授　　松本　壮一郎　氏
委　員：名城大学理工学部教授　　　松本　幸正　氏
委　員：日本政策投資銀行業務課長　山本　覚　氏
（事務局）
岡崎市企画財政部企画課班長　　　　　　岡田
岡崎市企画財政部企画課事務員　　　　　田中
岡崎市土木建設部道路建設課班長　　　　冨永
岡崎市土木建設部道路建設課班長　　　　寺田
岡崎市土木建設部道路建設課主任主査　　三島
岡崎市土経済振興部林務課班長　　　　　成瀬
岡崎市土木建設部河川課班長　　　　　　新美
（傍聴人）
なし

事務局	地域再生計画の概要、指標、実績、指標達成状況、評価について、事後評価（案）に沿って説明。
松本(幸)委員	H26 間伐面積が下がった要因は？
事務局	おそらく、消費税の増税等による市場が冷え込んだことが主な要因と考える。
松本(幸)委員	外的要因であるならしかたがない。
松本(幸)委員	市道整備は75%の進捗とあるが、災害のための重要路線であり、路線ができていないのは問題。
事務局	引き続き交渉は進めており、一部は次期地域再生計画にもあげて、整備は進めていく。そうでないものの交渉を続け整備をしていく方針。
松本(幸)委員	１次避難路等は市をあげて優先して実施していくべき。
松本(幸)委員	利便性の向上とあるが、主は防災機能の向上目的なので語弊が生じる。利便性の向上に「も」と修正しては。
小川委員長	目標を概ね達成とあるが、指標は全て達成している。危機管理能力の向上と間伐面積の拡大というのが、 市民としては合いにくい。間伐能力が高まると治水能力が高まるといった整理の方が、分かりやすいのでは。
小川委員長	誤字が部分的にある。修正を。
山本委員	市町村道整備の評価欄に引き続き地元説明や協議を重ね早期完了を目指していくとあるが、具体的な 完了年度を入れた方がいいのでは。
事務局	用地の取得状況により完成年度は不明確ではあるが、一部次期計画で整備していく路線もあるので次期 計画のH31年度と記載させていただく。
松本(幸)委員	雨水貯留浸透施設については、社資本等の他計画にもあったが、問題ないか。
事務局	市独自の施策であり、併せて行う事業という意味でそれぞれに掲載している。交付金を受けているのは、市道整備、林道整備だけなので、重複して補助を受けているわけではない。

【結果】

一部語句修正が必要だが、この事後評価案で妥当であることを判断する旨、委員一致、採決された。